

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	----------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	水産課水産しまね振興室長 三浦 順	電話番号	0852-22-5740
----------	-------------------	------	--------------

事務事業の名称	水産業競争力強化漁船導入促進事業		
目的	(1) 対象	水産業競争力強化漁船導入促進事業（構造改革推進）	
	(2) 意図	漁業の収益性を大幅に改善することで構造改革を進め持続可能な漁業への転換を図る。	
事業概要	国の水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業に本事業による県単繰ぎ足し補助を行うことにより、漁業の構造改革に取り組む漁業者のリース料負担を軽減し、高性能漁船を導入を促して収益性の改善を図る。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	目標値			7.0	14.0	21.0	隻
		取組目標値						
	式・定義	実績値						%
	達成率	-	-	-	-	-		
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						%
	達成率	-	-	-	-	-		

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)		70,000
うち一般財源 (千円)		70,000

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	⑤今年度新規
---------------------	--------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

本県の漁船の85%が船齢20年を超え、高船齢化が進行しており、このまま漁船の更新が進まなければ、漁業は存続の危機に陥る。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」
漁船の老朽化、高船齢化が進行し、このまま漁船の更新が進まなければ、漁業は存続の危機に陥る。

②困っている状況が発生している「原因」
漁業者が減船をはじめとする資源管理等の身を切る取組を行っているにもかかわらず、燃油価格の高止まりや国民生活様態の変化に起因する魚価の低迷といった厳しい外部環境に置かれてきたため、十分に収益性を確保できず、漁船の更新に必要な内部留保ができなかったため。

③原因を解消するための「課題」
高性能漁船の導入を促進し、悪循環に陥っている漁業の収益性を大幅に向上することで構造改革を進め、持続可能な漁業に転換を図る必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

これまで国は補正予算で予算措置をしており、平成29年度の状況は不透明であるが、国の予算状況や事業の採択状況を見極めて本事業を効率的に実施し、収益性の改善による漁業の構造改革を重点的に進める。